

プログラム

二月九日(土)

公開シンポジウム「障害者と歴史学」

法文二号館一番大教室(午後一時〜五時)

司会・趣旨説明

報告

1 スポーツを通じた障害者の社会への「統合」

——二〇世紀ドイツの事例——

2 障害をめぐる歴史研究の観点

——日本史の立場から——

3 「精神薄弱児」の母親の経験とその語り

——一九二三—一九五九の英国における知的障害史——

障害史——

コメント

1

小浜 正子

2

中野 智世

討論

二月二〇日(日)

日本史部会

古代史部会

法文二号館一番大教室
研究発表(午前二時〜二時)

1 東アジアにおける玄蕃寮の成立

——南朝起源説の再検討——

2 平安初期の陰陽寮に関する試論

——嵯峨太上天皇の「遺詔」とト占をめぐる——

3 『年中行事』の基礎的検討

——行事の項目を中心に——

4 平安時代における皇親出家と処遇の転換期

に関する一考察

——

中世史部会

法文二号館一番大教室
研究発表(午後一時三〇分〜四時)

1 鎌倉期春日社の社司集會 ジョージ・ウオラストン

2 南北朝期安芸国における国人と守護 羽田 友生

3 室町期東寺文化圏における表象と実態

——賭博する「付喪神」像を生み出す都市空間——

4 中世後期の禪宗における祖師遺忌について 李 淳楠

山口 啄実

池田 嘉郎

北村 陽子

高野 信治

大谷 誠

楊 丹丹

横井 裕人

堀井佳代子

阿部 葉央

近世史部会 法文一号館三二五番教室

研究発表(午後一時三〇分〜四時)

- 1 初期幕藩関係にみる「役」と「奉公」
——公儀普請を事例に——
川路 祥隆
- 2 慶長・元和期における大坂落人対策
堀 智博
- 3 享保元年御林吟味の意義
——幕府領山間地域を対象として——
増田 琴子
- 4 江戸近郊「抱屋敷」政策の再検討
久保堅大明

近現代史部会 法文二号館二番大教室

研究発表(午後一時〜四時三〇分)

- 1 明治初期の下意上達の実態
——東京再幸中止請願を例として——
劉 奕賢
- 2 明治初期における博覧会政策と民間出品者
——出品資金の貸与を中心に——
王 潔琳
- 3 初期議會期における枢密院と条約改正問題
田中 佑
- 4 日本陸軍の主要人事と学歴の關係性
——陸軍大学卒業生のキャリアパスに関する基礎的研究——
進藤悠佳理
- 5 一九二〇年代日本の総力戦体制構想と陸軍
經理組織
——食糧問題への対応を中心に——
大園 佳純
- 6 戦時下の地方文化団体
——会津文化協会を中心として——
角 英里華

東洋史部会 法文一号館一一三番教室

研究発表(午前二時〜午後四時)

- 1 北魏の「子貴母死」と「皇后無子」
——古代末期の婚姻の機能をめぐって——
佐川 英治
- 2 唐初期の漠北支配について
朱 智立
- 3 漢人世侯と授下領主の消長
——モンゴル帝国期の濟寧路を例に——
彦山 明志
- 4 元代文化史における色目人の貢献
——薩都刺を中心に——
賈 亦実
- 5 明代中前期における錢禁政策と私鑄錢の關係性
——貨幣構造の転換期の錢鈔政策について——
李 子鵬
- 6 南明初期の海外貿易政策と対日通商
劉 明鑑
- 7 「分」と「合」の狭間
——孫袁と民国初期による「聯日」外交の試み(一九二一〜一九二五年)——
林 曉萍
- 8 第一次世界大戦後の國際交通諸条約形成をめぐる北京政府外交
宮脇 雄太
- 9 文明批判の可能性
——第一次世界大戦後の中国アナキズムと暴力——
何 文琳

西洋史部会 法文一号館二一五番教室

研究発表(午前二時〜午後三時)

- 1 六世紀中葉の東ローマ帝国における聖職者追放
——追放先としてのエジプトに着目して——
胡 昶旭

- 2 一三五六年に皇帝カール四世は神聖ローマ帝国の改革を目指したのか——政治コミュニケーション史からの再検討——
横川 大輔
- 3 フランス革命期・ナポレオン統治期にイギリス革命史を読む、書く
楠田 悠貴
- 4 七月王政期における宗教的記念物の管理とカトリック
——用途と信心の観点からの考察——
中山 俊
- 5 「国民」と言語をめぐるフィンランド知識人の議論と一八六九年議会議法
吉田眞生子
- 6 プリテン帝国および君主をめぐる戦間期アイルランドの国制論争
中川 翼